

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

第2回定例会で条例提案しました 木造戸建て住宅の耐震診断無料化

大地震が発生するといわれていますが、住宅の倒壊により火災が発生することも大いに予想されます。品川区の場合、燃えて失われる住宅は32%と想定されました。区民の命と財産を守るために、また、耐震性の高い住宅をつくるきっかけにするために、6月21日の本会議で条例提案し、25日の建設委員会で質疑しました。

**現在の耐震診断費用は
6万円の負担がある**

区は、8年前の2004年から木造住宅耐震診断支援として12万円の2分の1、6万円の助成を開始しました。対象は旧耐震（昭和56年6月1日以前に建設した）住宅です。しかし、遅々として進んでいないのが現状です。

**災害が来たらあきらめる
では済まない問題**

「災害が来たらあきらめる」という方は結構多くいますが、自分の命はいいと言って済まされない問題です。

耐震性が弱い住宅はほとんど倒れたり傾いたりするでしょう。玄関は通りに面している所が多いので、道路に倒れまです。燃えてしまうだけでなく、避難路をふさぐとか救急車などの通行にも支障をきたします。自分だけの問題では済まなくなります。

**半額助成しても遅々として進まない現状を変える
には、抜本的対策も必要**

区の耐震化助成事業の年間の実績は残念ながら少なくて、平成27年までの9年間で、9800件の耐震改修工事を終らせることを目標にしていますが、まだ161件という実態です。進まない理由は、高齢化と経済的理由が主です。

区議団は、経済的理由の方には公共住宅を建設して入居してもらえようということも必要だと主張しています。

**耐震診断料を無料にして
促進を——と条例提案**

区議団は、耐震診断料の区民負担分（6万円）をなしにして、耐震診断を促進させ、改修工事につなげたいと考え、無料化の条例をつくり提案しました。区長と懇談しましたが、なかなか進まない事に悩んでいることがわかりました。

耐震診断を受けるには

自分の家の耐震診断を受けるには、防災課に申請します。

まず、簡易診断(無料)を受け、一般診断を受けます。一般診断は6万円の自己負担があり、これを無料にという提案をしました。

診断後、住宅の改修工事をするにしたら、設計をしなくてはなりませんので、20万円の補助を受けます。

区議会でも条例提案

建設委員会では

提案に対して各党から質疑を受けました。

質問内容は、無料診断や一般診断件数、また、診断後住宅

の改修工事につながった件数などでした。

自分の家やまちを守る

防災意識をつける

また、診断費用の無料化で住宅の改修につながるのかという質問も出されました。

それに対しての党区議団の答弁は、自分の家がどのくらい

の耐震性があるのか、あるいはないのかを知ることが災害対策の第一歩と考えること

また、その認識を持つこと

で自分の命だけでなく自分のまちをどう守るかということ

にも考えがおよび、安全なまちづくりを地域で考えあえる

ことにつながるのではないかと

条例は、他党によって否決されましたが、緊急対策として

必要な防災対策に全力で取り組みます。

墨田区 コミュニティ住宅をつくり地域で暮らせる

革新都政をつくる会主催の「防災ウォッチバスツアー」に参加。墨田区の密集地域の解消と防災まちづくり策などをみてきました。消防車が入れる道路(8m幅)をつくり、震災時に避難と救急活動できるようにする。そのために住宅を買収するが、

立退き後も町で暮らせるように地域内に3階建程度の集合住宅をたくさんつくっています。自己責任を求めているだけでは進みません。品川区内の火災危険を解消するには、思い切った対策と区民の認識を高めることが大事です。

新藤兼人
監督映画

一枚のハガキ

「戦争ですべてを失った男と女を巡り合わせたのは、一枚のはがきだった。」

上映日 8月3日(金)

会場 きゅりあん小ホール

前売券 一般1000円 中・高生800円

生活・雇用・子そだて

・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)

1523